

みなみあそ ダイアリー

くまもとの笑顔・未来を創る
児童生徒表彰で入賞



表彰状と記念品のクリアファイル、ピンバッジを持つ6年生

白水小学校4～6年の児童と、6年生の田上向日葵さんが「くまもとの笑顔・未来を創る児童生徒表彰」で同時に入賞され、県教育委員会から表彰を

受けました。この表彰は県内の児童生徒が行った社会奉仕活動や地域貢献活動、人命救助などのよい行いを称えるもので、どちらも地域貢献活動に対して賞が贈られました。

4～6年生の児童は、企画運営委員会が窓口となって地域との交流会を開催しました。5つの地域に分かれ、区長や民生委員、保護者と一緒に白玉フルーツポンチを作りながら交流を深めました。今年で3回目の開催となり、6年生の児童たちは「顔見知りの人も増え、たくさん会話もできた」と話していました。この取り組みは新年度も引き続き実施される予定です。

田上さんは子どもたちの登校を見守っているボランティアの人に、修学旅行のお土産と感謝のことはを贈られ、今回の受賞に至りました。「いつもお世話になっているから、何か恩返ししたいと思って贈った。地域みんなの笑顔が繋がって嬉しい」と述べられました。



個人でも受賞された田上向日葵さん

地域の文通相手と念願のご対面 久木野小学校「文通プロジェクト」 茶話会



久木野小学校では、地域と学校が相互に連携・協働して行う地域学校協働活動の一環として、4年生以上の希望者が地域の人たちと手紙を交わす「文通プロジェクト」が行われています。

コロナ禍に児童の発案で始まり7年目となる今年度は、28人の児童が参加。初めて地域の皆さんを学校へ招待し、茶話会が開かれました。当日は児童たちとそれぞれの文通相手である地域の皆さんが直接顔を合わせ、会話やお茶、ゲームを一緒に楽しみながら交流。手紙のやりとりで育んだつながりを更に深める時間を過ごされていました。



顔を合わせての交流に話が弾みました

小学生ランドセル贈呈式 行われました



LOOPみなみあそでランドセル贈呈式が行われました。ランドセルの贈呈は、4月から村内の小学校へ進学する村内の園児を対象に行われており、今年度は41人に贈呈されました。

式では村長から園児全員へ、自分たちで選んだお気に入りの色のランドセルが手渡され、園児たちは大切そうに受け取り笑顔を見せていました。式の最後には、全員で声を合わせ「ランドセルあります」と元気いっぱいお礼の言葉を述べました。ランドセルと一緒に楽しい学校生活を送ってくれることを願います。



ランドセルを手にし喜ぶ園児

南阿蘇中学校卒業式



3月7日、南阿蘇中学校で卒業式が行われ、全校生徒が参加しました。令和7年度の卒業生は84人。送辞では、在校生代表の板東朋佑さんが「先輩たちと過ごした楽しい日々が戻らないと思うと寂しいですが、学んだことを継承、発展させていきたいです」と述べられ、在校生は合唱で卒業生の門出を

祝いました。

答辞では、卒業生代表の佐藤くるみさんが「南阿蘇中学校でたくさんのかげがえのない思い出ができました。仲間間の存在が支えとなって、悩んだときは助けあい、共に乗り越えることができました。それぞれが成長して、また会える日を楽しみにしています」と述べるとともに、在校生への願いや保護者や学校の先生への感謝の思いも語られ、全員で合唱を披露しました。



在校生からは心のこもった歌が贈られました



送辞を述べる板東朋佑さん



保護者らにも見送られ、退場する卒業生



答辞を述べる佐藤くるみさん



大谷校長から渡された卒業証書



卒業生は2曲合唱しました



次なるステージに進む卒業生

ました。が、徐々に笑顔で会話をしたり、コミュニケーションをとったりする場面も増えるなど、中学校入学前に親睦を深めていました。村では今後、スポーツを通じた交流活動を行うべく、予定です。

令和7年度小学生親睦スポーツ大会開催



白水小学校体育館にて令和7年度小学生親睦スポーツ大会が開催されました。この大会は、村内3小学校の6年生を対象に、ニュースポーツを通して親睦を図ることを目的としています。当日は78人が参加し、3小学校の混合16チームに分かれモルックを体験。最初は緊張してい



全員での集合写真

白川地区で
子ども神輿お披露目

白川吉見神社にて、子ども神輿のお披露目と体験が行われました。この子ども神輿は神輿を通じて文化の継承と地域の人の繋がりを深めていくことを目的に新しく導入されています。神輿は約40kgの木製。当日は観光客も見守る中、地区の子どもたちをはじめとする約30人が順番で、大人と一緒に神輿を担いだり台車に乗せて引つ張ったりし、元気に水源内を歩きました。子どもたちは「初めてみんなで神輿を担げて楽しかったので、次はもっと長い距離を歩きたい」と大喜びで話されました。今後は区の祭りやイベントで稼働し、大人神輿の担ぎ手の育成にも繋げていかれる予定です。



導入された子ども神輿

南阿蘇サッカークラブ
県大会でベスト8

「KFA第57回熊本県U-12サッカー選手権大会 熊本県大会」で南阿蘇サッカークラブが144チーム中ベスト8の好成績を残しました。1次ラウンドからはリーグ戦で4戦全勝。2次ラウンドからはトーナメント戦で、1回戦、2回戦と勝ち抜き、3回戦では全日本U-12熊本県予選で3位となったシードチーム相手に粘り強く戦い、1-0で勝利しました。4回戦で敗北しましたが、最後まで諦めず戦い抜きました。選手たちは「もっと勝てるよう、努力したい」と意欲を見せていました。



健闘した選手たち

令和8年度自衛隊
入校・入隊者壮行会

令和8年度自衛隊入校・入隊者壮行会が役場で行われ、自衛隊熊本地方協力本部や自衛隊家族会が出席しました。新入校者は川崎慶祥さん(川後田)、田上千尋さん(白川)。新入隊者は今村箕治さん(第7駐在)。出席者から激励の言葉を掛けられ、「国民を守るリーダーになって熊本に帰ってきたらいい(川崎さん)」、「一人の役に立てる自衛官になりたい(田上さん)」、「熊本地震の時に来てくれた自衛官のようにするためにこれからも努力したい(今村さん)」と力強く抱負を語られました。



前列左から4番目より今村箕治さん、田上千尋さん、川崎慶祥さん

農業コンクールで
優良賞受賞

県農業コンクールで、新人王部門阿蘇郡代表の松岡祐輝さん・明日香さん夫婦(一関二)が優良賞を受賞され、熊本テルサにて県知事などから表彰状の贈呈を受けられました。この大会は優れた農業経営や技術・地域貢献活動を行う農業者などを表彰するもので、毎年開催されています。お二人は8年前に関東から移住。夏秋トマトで新規就農され、JA阿蘇南部トマト部会ではトップクラスの成績を収められています。受賞され、「このような賞を頂けたのも農から今まで周りの皆さんのサポートがあつてのことだと思いません。これからも現状に満足せず、日々精進してまいります」と話されました。



受賞された松岡祐輝さん(写真左)と明日香さん(写真右)

いつまでもお元気に 百歳の表彰とお祝い



市原キイ子さん(第4駐在)と藤原シズ子さん(第2駐在)が百歳を迎えられ、太田村長より表彰状とお祝いが贈呈されました。

市原さんは大正15年1月生まれ。長年農業に励む傍ら、縫製工場にも勤務されるなど働き者で、ご家族を大切にしていっしょにやります。娘さんは「母は頭の中は畑のことばかりで、私たちがより品種なども詳しい」と話されます。当日は「デイサービスの皆さんと駆けつけられたご家族に囲まれて賑やかなお



ご家族と記念撮影をされる市原さん(左から3番目)

祝いとなり、「ありがとございませう」と感謝の言葉を述べられました。

藤原さんは大正15年2月生まれ。これまでの歩みを振り返り、「百歳まで生きられるとは思いませんでした。決して楽な人生ではなかったが、一日一日を必死に生きてきた。これも子や孫ひ孫のおかげ。これからも毎日を大切に、皆さんと笑って過ごしたい」と、息子さんが藤原さんの想いを代読されました。当日は、ご家族から百寿のお祝いに贈られた桃色の大黒頭巾とちゃんちゃんこを身にまとい、ご家族に囲まれて華やかなお祝いとなりました。



贈られた衣装を着て笑顔をみせられる藤原さん

令和8年熊本県豪雨対応訓練 を実施(指揮判断訓練)



役場で、県豪雨対応訓練を実施しました。この訓練は出水期までに豪雨災害における対応手順の確認や、情報共有および避難情報の発令判断などの訓練を行い、県と市町村の初動対応能力を向上させることを目的としています。訓練は毎年実施しており、当日は村長を本部長とする災害対策本部を設置し、県をはじめとした警察や消防などの関係各機関も参加。実際の災害を想定した訓練を遂行しました。今回の訓練を踏まえ、村民の皆さんの安全・安心のために、引き続き地域防災力向上に取り組んでいきます。



訓練の様子

ヤマビル等対策 講習会を開催



LOOPみなみあそで、両併地区と久石地区の住民を対象にヤマビル等対策講習会が開催されました。これは村で被害が確認されているマダニやムカデなどヤマビル等から身を守るための、駆除ではなく防除の観点から虫よけ剤の使用方法などを正しく学ぶことを目的として行われています。当日は講師としてアース製薬株式会社の山本由紀さんをお迎えし、参加者は予防法や血を吸われたときの対処法を学びました。村は今後も、安全安心な暮らしに関する取り組みを進めていきます。



対処法を学ぶ参加者